

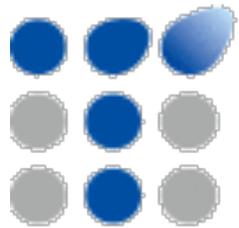
社会課題解決とSDGs実現のための ICT／ソーシャル・ビジネス ” ICT / Social Business to solve social problems and to achieve SDGs ”

実践ケース：「 Bangladeshにおける遠隔健康診断プロジェクト」と
「ソーシャル・ビジネスベンチャー創業」

The Portable Health Clinic Project in Bangladesh & Social Tech Business Venture

元電気通信普及財団理事長 川崎達男

九州大学システム情報科学研究院准教授 Ashir Ahmed



公益財団法人

電気通信普及財団

The Telecommunications Advancement Foundation

1984年旧電電公社民営化時にNTTの出捐により創設。

情報通信に関する学術研究や国際人材育成、社会貢献活動に資する助成、援助、表彰を行う。

基本財産 110億円

助成／援助実績 9500件、86億円

電気通信普及財団賞 775件

九州大学／グラミン共同研究プロジェクトへの 助成／支援

- **Bangladeshにおける「eヘルスワーカー」育成のための指導者研修
事業支援 （2016－2018）**
- **Social Tech Summit / International Conference for SDGs,
Healthcare, Social Business国際会議後援 （2018－2019）**

19-21 November 2019

www.Conf.Gramweb.Net

Sponsors



Supporters



Sustainability Thinkers for Social Technologies



Dr. Muhammad Yunus
2006 Nobel Peace Laureate
Founder, Grameen Bank



Prof. Hiroto Yasuura
Executive Vice President
Kyushu University



Dr. Anis Uzzaman
General Partner & CEO
Pegasus Tech Ventures



Jarom Britton
Regional Attorney – Health,
Education & Public Sector,
Microsoft



Mr. Tatsuo Kawasaki
Ex. Senior Advisor
Telecommunication
Advancement Foundation

Social Tech Summit /International Conference for SDGs, Healthcare and Social Business

- 第一回 2017年東京 ユヌス博士／小池東京都知事パネル
- 第二回 2018年福岡 国際会議へ発展。10カ国から研究者、NPO,NGO,企業、政府機関等の参加
- 第三回 2019年 福岡 16カ国参加の国際会議
ユヌス博士の基調講演とパネル

論点

- SDGs実現、貧困問題、医療へのアクセス等の社会課題解決にICTなどデジタル技術、ソーシャル・ビジネスをどう活用するか？
- 新興国DXの、社会課題解決、ソーシャル・ビジネスへのインパクトとは？ リバース・イノベーションの動向・影響と日本の立ち位置
- ソーシャル・ビジネス起業の課題は？
- 既存の企業にとってソーシャル・ビジネスはあらたな「ビジネスモデルイノベーション」となるか？ 未踏の市場への取り組み

社会的実践の中から課題解決の答えを見つけてゆくというアプローチ